

JPCA 家庭医療専門研修プログラム 年次報告（プログラム責任者）2024 年度の構成

メールアドレス

回答者のお名前

プログラム名称（正式のもの）

プログラム認定番号（半角で）

所属する地域ブロック

研修施設と指導医について（今年度、専攻医が研修する施設（予定も含む）についてのみ回答して下さい。）

※12 施設まで入力可能

施設名（病院の場合は診療科名も）

研修領域

常勤の認定指導医数

前問で回答した常勤の認定指導医氏名と認定番号

家庭医療専門研修 I について（今年度、専攻医が研修する施設（予定も含む）について回答して下さい。）

家庭医療専門研修 I での研修について(1)

[選択肢：全ての施設で完全に要件を満たす、要件をやや満たさない施設がある、要件を大幅に満たさない施設がある]

1. 外来診療：日常よく遭遇する症候や疾患への対応（外傷も含む）、生活習慣病のコントロール、患者教育、心理社会的問題への対応、高齢者ケア（認知症を含む）、包括ケア、継続ケア、家族志向型ケア
2. 訪問診療：在宅ケア、介護施設との連携などを経験し在宅緩和ケアにも従事
3. 地域包括ケア：学校医、地域保健活動などに参加
4. 専攻医が経験する症例の 5%以上が学童期以下の小児
5. 専攻医が経験する症例の 10%以上が後期高齢者
6. 24 時間体制で患者の健康問題に対応する体制（他の医療期間との連携や電話対応でも可）

前問の小児患者の割合に関して

5%未満の施設はない

5%未満の施設の全てでは、小児の患者数は少ないが断ることなく診療している、または同一期間に地域性の近い他の医療機関で小児診療の研修を継続的に行っている

前項を満たさない研修施設がある

家庭医療専門研修 I での研修について (2)

[選択肢：全ての施設で完全に要件を満たす、要件をやや満たさない施設がある、要件を大幅に満たさない施設がある]

1. 一定の患者について研修期間中の継続診療を担当している
2. 専攻医が同一施設で急性期、慢性期、予防・健康増進、緩和ケアなどを幅広く同時期に担当している
3. 必要な医療機関、介護・福祉機関などと適切に連携している
4. 様々な年齢層を含む同一家族の構成員が受診している
5. 受診していない地域住民への集団アプローチを計画的に実施している
6. 計画的な訪問診療を行い、患者の急変、緩和ケア、看取りに対応している

家庭医療専門研修 I での研修について (3)

[選択肢：全ての施設で完全に要件を満たす、要件をやや満たさない施設がある、要件を大幅に満たさない施設がある]

1. 専攻医は外来で週に概ね 30 人以上を診療している
2. 専攻医は外来でメンタルヘルス領域の疾患の患者を週に概ね 2 人以上診療している
3. 専攻医は訪問診療で週に概ね 5 人以上を診療している
4. 専攻医は訪問診療で 6 カ月に 1 人以上の終末期医療に携わっている

家庭医療専門研修 II について（今年度、専攻医が研修する施設（予定も含む）について回答して下さい。）

家庭医療専門研修 II での病棟研修で、次のことを行っていますか？

[選択肢：全ての施設で行っている、半数未満の施設であまり行っていない、半数以上の施設であまり行っていない]

1. 高齢者（特に虚弱高齢者）ケア
2. 複数の健康問題を抱える患者への対応
3. 必要に応じた他科専門医との連携
4. 心理・社会・倫理的複雑事例への対応
5. 癌・非癌患者の緩和ケア
6. 退院支援と地域連携機能の提供
7. 在宅患者の入院時対応

家庭医療専門研修Ⅱでの外来研修で、次のことを行っていますか？

[選択肢：全ての施設で行っている、半数未満の施設であまり行っていない、半数以上の施設であまり行っていない]

1. 救急外来
2. 初診外来
3. 臓器別ではない外来で幅広く多くの初診患者の診療
4. よくある症候と疾患の診療
5. 臨床推論、EBMの実践
6. 複数の健康問題への包括的なケア
7. 診断困難患者への対応

オリエンテーションについて

[選択肢：十分に行い専攻医が理解している、行っているが不十分、行っていない]

1. 到達目標を専攻医に示している
2. 何で評価するか専攻医に示している
3. プログラムとしての修了要件を専攻医に示している
4. 評価に対して不服申立ができることを専攻医に示している

各研修施設で次の評価方法を実施していますか？

[選択肢：全ての施設で行っている、半数未満の施設であまり行っていない、半数以上の施設であまり行っていない]

1. Fami-Log の経験目標の到達確認
2. 360 度評価
3. Case-based Discussion での評価
4. Mini-CEX を用いた診療現場における評価
5. 各施設での評価内容の、プログラム管理委員会またはプログラム責任者への報告

修了判定について

- Fami-Log に記載された経験目標の到達度自己評価が基準に達していることを確認している
- 専攻医が作成したポートフォリオで全領域が基準に達していることを確認している
- 各研修施設の指導医からの評価を確認している
- 360 度評価、CbD、mini-CEX の結果を確認し参考にしている
- Off-the-job training の取得単位が基準に達していることを確認している
- 修了判定はプログラム管理委員会等の合議で行っている
- プログラム責任者は上記すべてを確認している
- 修了者には規定の内容を記した修了証を発行している

専攻医の研修サポート

次のことを行っていますか？

- 適切な研修ができるよう専攻医配置人数とリソースのバランスを取っている
- 専攻医のカウンセリングやキャリアの相談ができるシステムがある
- 研修の進捗を確認し、それに基づいたカウンセリングを定期的に行っている
- ポートフォリオ作成支援をプログラムとして組織的に行っている
- 業務と学修のバランスが取れるようにしている
- 適切な労働時間にしている
- 出産、育児、介護、病気療養に柔軟に対応している
- プログラムの改善、勤務条件の改善など研修に関することに専攻医が参画している

各研修施設の教育環境・資源について

[選択肢：全ての施設で行っている、半数未満の施設であまり行っていない、半数以上の施設であまり行っていない]

1. 指導医と定期的に振り返りをしている
2. ビデオレビューを行っている
3. 診断・治療をテーマにした症例カンファレンスを行っている
4. 困難事例のマネジメントをテーマにした症例カンファレンスを行っている
5. 診療目的とは別に専攻医の教育目的のカンファレンスを行っている
6. UpToDate、DynaMed 等のオンライン二次資料の利用ができる
7. ポートフォリオ作成支援を行っている

指導医について

- プログラム独自にまたは他のプログラムと合同で Faculty Development を行っている
- 認定指導医更新のための指導医養成講習会の受講を促している
- 指導医をサポートする機会を設けている

プログラム評価と管理について

- 各研修施設のモニタリングを定期的に行っている
- 専攻医からプログラムへのフィードバックを得る機会を設けている
- 指導医からプログラムへのフィードバックを得る機会を設けている
- プログラムを評価し改善への議論が行われている
- プログラム管理委員会が設置されている
- プログラム管理委員会が機能している

今回の自己評価を踏まえ、プログラムの課題と解決に向けての取り組みを記載して下さい
(自由記述式)

当学会の専門研修制度に関して、ご意見やご要望などがありましたら、ご記載下さい
(自由記述式)